

平成 25 年度 活動方針(案)

楽しくない活動は続かない。価値のないものは見放される。この当たり前の原則にもう一度立ち返って活動全体を見直してみる。また、大幅に起業精神を取り入れ、生み出されたエネルギーを原動力とする組織に変えていく。さらに、同じ志を持つ団体と連携し、大阪 BBS 連盟、近畿 BBS 連盟、日本 BBS 連盟と共に、閉塞感から繋がり感への転換をテーマとして大胆に活動することを基本方針とする。

1.KIKO 活動

KIKO 活動を重要な活動として位置づける。子どもの声を聴くという行為は、子どもと同じ目線に立つための原点とも言える。部屋の中でボールを投げる、蹴るといったことは大人からするとあり得ない。しかし、子どもたちはわずかな時間かもしれないが、自分自身の気持ちを表現する場として楽しんでくれている現実がある。

吹田の KIKO 活動は他の BBS 会の仲間から見ると、立ち直りを期待される青少年を対象としていない、子どもたちへの教育的効果がない等の否定的な意見を受けることがある。しかし、青少年が自身を解放する場を守ってあげることこそ、結果が見えにくい中でも維持すべきものだと考えている。

2.ともだち活動

会員と対象者とのマン・ツー・マンを基本として青少年に寄り添い、信頼関係を構築し、開かれた心の中から明らかとなった問題点に対し、会員みんなで解決方法を考える。

当会は支援組織と連携し、孤立、不審に悩む青少年を温かく包み、地域社会にも溶け込めるよう、各関係機関に働きかけていく。「青少年を大切に思う心」をともだち活動の基礎として、救いを求められる場所として今後も活動を推進していく。

3.地域や関係団体の活動や行事への参加

今まで参加してきた関係機関の行事参加、地域の活動や行事への参加やスタッフとしての協力を努める。また、当会活動にも様々な団体から協力を得られるよう努める。さらに、各関係機関と BBS 活動や KIKO 活動について話し合う機会を持つ。

4.イベントの企画

子どもたち(保護者も含む場合も有り)と一体となって楽しめるイベントを企画する。

5.研修会

会員が受講した研修内容の報告会の開催や、テーマを決めてお互いに意見を出し合う研修会を企画する。また、その成果についてホームページ等を通じて公開する。

6.会員募集

会員募集を円滑に行うためホームページを活用して、当会の PR 活動を行う。また、会員勧誘チラシや KIKO スタッフ募集チラシ、大阪 BBS 連盟のリーフレットを活用することで、広く BBS 会の周知に努め、会員を募集する。

7.会の維持、運営活動

・定例会・(毎月 1 回)

ともだち活動検討会・長期的な企画・人権学習会・組織運営学習会

・研修会(当会または他団体含む)

・組織活動(会員勧誘・広報活動(広報資料作成・広報活動計画))

・他に必要な活動